2024 年度昭和医科大学病院薬剤部業績

1. 論文 (英文)

1. Momo K, Moriya K, Itoh A, Kobayashi M, Tagawa N, Ebata R, Kuchira R, Tanaka H, Kashiwabara Y, Shimamura H, Abe Y, Kamiya T, Imai T. Public Knowledge and Attitude of Caregivers Regarding Leftover Medications for Children under 6 Years of Age in Japan: A Descriptive Study on a Nationwide Exploratory Questionnaire Survey to Caregivers. *Biol Pharm Bull.* 2024;47(10):1690-1698.
2. Sunaga T, Okada T, Iso Y, Ebato M, Toshida T, Nawata S, Suzuki H, Kogo M. Clinical evaluation and outcome in heart failure patients receiving chemotherapy with different anti-cancer agents. *ESC Heart Fail.* 2024 Jun;12(3):1965-1976.
3. Nakajima K, Momo K. A severe tremor caused by a beta2 agonist in a patient with asthma-chronic obstructive pulmonary disease overlap. *Clin Case Rep.* 2024 Jul 31;12(8):e9137.
4. Ikebukuro S, Tanaka M, Kaneko M, Date M, Tanaka S, Wakabayashi H, Murase M, Ninomiya N, Kamiya T, Ogawa M, Shiojiri D, Shirato N, Sekiguchi Y, Sekizawa A, Nakatsuka M, Gatanaga H, Mizuno K. Induced lactation in a transgender woman: case report. *Int Breastfeed J.* 2024 Sep 19;19(1):66.
5. Tomura K, Sakamaki H, Nawata S, Ishida H, Tanaka K, Kogo M. Cost-effectiveness analysis of first line pembrolizumab monotherapy for high programmed cell death ligand 1 expressed, advanced non-small cell lung cancer in Japan. *Int J Clin Pharm.* 2025;47(2):304-313.
6. Kashimura S, Sato M, Inagaki T, Kin M, Manabe R, Kusumoto S, Horiike A, Tsunoda T, Kogo M. Relationship between the combination of platelet count and neutrophil-lymphocyte ratio and prognosis of patients with advanced non-small cell lung cancer treated with immune checkpoint inhibitors plus chemotherapy: A retrospective cohort study. *Thoracic Cancer.* 2024 Oct;15(28):2049-2060.
7. Inagaki T, Ichimura T, Ichikura D, Wakamura K, Nawata S. Black Pigmentation on the Tongue Induced by Long-Term Use of Tetracycline Antibiotics in a Colorectal Cancer Patient With Epidermal Growth Factor Receptor (EGFR) Inhibitor-Associated Skin Lesions: A Case Report and Literature Review. *Cureus.* 2025 Feb 18;17(2):e79261.

8. Tsurui T, Hosonuma M, Sasaki A, Maruyama Y, Amari Y, Funayama E, Tajima K, Toyoda H, Isobe J, Yamazaki Y, Baba Y, Shida M, Udaka Y, Mura E, Suzuki R, Iriguchi N, Ishiguro T, Hirasawa Y, Ohkuma R, Shimokawa M, Ariizumi H, Kubota Y, Horiike A, Wada S, Kuramasu A, Tsuji M, Kiuchi Y, Tsunoda T, Yoshimura K. Ki-67 expression in anti-programmed cell death protein-1 antibody-bound CD8⁺ T cells as a predictor of clinical benefit. *Discov Oncol.* 2025 Mar 18;16(1):348.
9. Amari Y, Hosonuma M, Mizukami T, Isobe J, Azetsu Y, Funayama E, Maruyama Y, Tsurui T, Tajima K, Sasaki A, Yamazaki Y, Nakano R, Sano Y, Ishida A, Nakanishi T, Mochizuki S, Yoshizawa Y, Kumagai S, Yasuhara S, Ryu K, Oguchi T, Kuramasu A, Yoshimura K, Sambe T, Kobayashi S, Uchida N. Association between the ABCC11 gene polymorphism-determined earwax properties and external auditory canal microbiota in healthy adults. *Microbiol Spectr.* 2025 Feb 4;13(2):e0169824.
10. Funayama E, Hosonuma M, Tajima K, Isobe J, Baba Y, Murayama M, Narikawa Y, Toyoda H, Tsurui T, Maruyama Y, Sasaki A, Amari Y, Yamazaki Y, Nakashima R, Uchiyama J, Nakano R, Shida M, Sasaki A, Udaka Y, Oguchi T, Sambe T, Kobayashi S, Tsuji M, Kiuchi Y, Kim YG, Wada S, Tsunoda T, Akiyama M, Nobe K, Kuramasu A, Yoshimura K. Oral administration of *Bifidobacterium longum* and *Bifidobacterium infantis* ameliorates cefcapene pivoxil-induced attenuation of anti-programmed cell death protein-1 antibody action in mice. *Biomed Pharmacother.* 2025 Jan;182:117749.
11. Toyoda H, Kuramasu A, Hosonuma M, Murayama M, Narikawa Y, Isobe J, Baba Y, Tajima K, Funayama E, Shida M, Maruyama Y, Sasaki A, Hirasawa Y, Tsurui T, Ariizumi H, Ishiguro T, Suzuki R, Kobayashi S, Horiike A, Hida N, Sambe T, Nobe K, Wada S, Kobayashi H, Tsuji M, Kobayashi S, Tsunoda T, Kudo Y, Kiuchi Y, Yoshimura K. MHC class I polypeptide-related sequence B shedding modulates pancreatic tumor immunity via the activation of NKG2D^{Low} T cells. *Sci Rep.* 2024 Oct 8;14(1):23401.
12. Murayama M, Hosonuma M, Kuramasu A, Kobayashi S, Sasaki A, Baba Y, Narikawa Y, Toyoda H, Isobe J, Funayama E, Tajima K, Sasaki A, Maruyama Y, Yamazaki Y, Shida M, Hamada K, Hirasawa Y, Tsurui T, Ariizumi H, Ishiguro T, Suzuki R, Ohkuma R, Kubota Y, Horiike A, Sambe T, Tsuji M, Wada S, Kobayashi S, Shimane T, Tsunoda T, Kobayashi H, Kiuchi Y, Yoshimura K. Isobutyric acid enhances the anti-tumour effect of anti-PD-1 antibody. *Sci Rep.* 2024 May 17;14(1):11325.
13. Funakoshi H, Kiryu Y, Momo K. Risk Factors for Treatment Transition in Patients with Low-Risk Atrial Fibrillation Patients Undergoing Anticoagulation Monotherapy: A Large Claims Database Study in Japan. *Biol Pharm Bull.* 2024;47(7):1383-1391.
14. Hoshi A, Funakoshi H, Otoyama Y, Yoshida H, Momo K. Kampo medicine inducing drug-induced liver injury: A case report and systematic review. *Drug Discov Ther.* 2025

Jan 14;18(6):325-335.

15. Kanamori S, Koya H, Kurata N, Ishino K. Microbial Contamination of Percutaneous Endoscopic Gastrostomy Tube and Nasogastric Tube with Drug-Resistant Bacteria. *Ann Nutr Metab.* 2025 Feb 5:1-10.

16. Wakabayashi H, Karasawa K, Okamoto M, Chiba M, Tanaka K. Study on Drug-Food Thickening Agents' Interactions between Warfarin and Prebiotics Used for Viscosity Adjustment. *Ann Nutr Metab.* 2025 Feb 14:1-8.

2. 論文 (邦文)

1. 大坪博子, 倉田なおみ, 大城真理奈, 高橋伸幸, 山口天士, 田中広紀, 楠 裕美子, 詫間章俊, 三井奈緒, 島本一志, 伊藤綾花, 越塚宏美, 古屋宏章, 大音師澄子, 飯田純一, 輿石 徹, 上田章人, 萩田均司, 坪内理恵子, 宇都宮励子, 森田俊博. 錠剤嚥下障害の実態調査と服薬補助製品による服薬改善評価 —PILL-5アセスメントツールを用いて—. *医療薬学* 2024 ; 50 (9) : 473-485.

2. 和田 紀子, 山口 芽衣, 仁尾 祐太, 本間 織重, 横山 和彦. 医療用麻薬自己管理推進に向けた薬剤自己管理金庫の開発と使用感に関するアンケート調査. *昭和医科大学雑誌* 2025;85(1):53-58.

3. 総説 (特集、解説、記事等を含む)

1. 稲垣貴士, 市村丈典. 外来診療の質を上げる方法を教えて. *月刊薬事.* 2024;75(8):63-69.

4. 著書

1. 金森捷太 (分担執筆). 「微生物学・感染症学 第3版 (ベーシック薬学教科書シリーズ:15)」。塩田澄子、黒田照夫[ほか], 『感染性心内膜炎』, 東京化学同人 2024年5月, pp.280-282.

2. 百賢二, 森中遥香, 越塚宏美 (分担執筆). 「薬局 第75巻10号」。百賢二・深水啓朗 編著, 『フォーミュラ導入のメリットは? 課題は? (処方薬選択の観点から)』, 南山堂, 2024年, pp.91-93.

3. 星茜 (分担執筆). 薬局 2024年75巻9月号(No.10) 剤形蘊蓄 コツコツ学ぶ, あしたの“剤テク”。百賢二・深水 啓朗 編集, 『ビスホスホネート製剤の

剤形選択のポイントは?』, 南山堂, 2024年, pp.102-105.

4. 吉川雅之, 青木 悟, 玉造竜郎 (分担執筆). 「診断と治療」. 三宅康史 編著, 【外来で見逃さない危険な疾患, 相談すべき症例-気づくコツ, つなぐヒント-】 受ける側の視点 診断につながるヒント 薬剤による影響, 診断と治療社, 2024年, pp. 1391-1397.

5.学会発表

1. 青木 彩華 (口頭発表). 糖尿病性神経障害の陰性症状に対する SMTP-44D の予防効果. 日本薬学会第 145 年会. 2025 年 3 月 (福岡)

2. 仁尾 祐太 (口頭), 内倉 健, 嶋根 俊和, 百 賢二. 放射線照射を受けているがん患者における口腔粘膜炎に対する鎮痛薬の使用実態. 第 34 回日本医療薬学会年会, 2024 年 11 月 (千葉)

3. 嶋村 弘史 (ワークショップ演者) 透析患者への薬剤の投与方法. 第 50 回日本血液浄化技術学会学術大会・総会, 2024 年 4 月 (埼玉)

4. 金森捷太(口頭発表)、古屋宏章、倉田なおみ、石野敬子. 胃瘻カテーテルおよび経鼻胃管の微生物汚染に影響する因子の解析. 第 72 回日本化学療法学会総会, 2024 年 6 月 (神戸)

5. 詫間 隆博 (口頭発表), 温 麟太郎, 前田 真之, 山口 梢, 中田 麻里, 吉川雅之, 宇賀神 和久, 石野 敬子, 時松 一成. 血液培養陽性者ラウンドにおける助言内容推移(第 2 報). 第 98 回日本感染症学会学術講演会 第 72 回日本化学療法学会総会 合同学会, 2024 年 6 月 (神戸)

6. 中澤 昂平 (ポスター), 兼平 暖, 阿部 誠治, 市橋 孟, 服部 はるか, 和田 紀子, 加藤 肇, 田中 広紀, 峰松 清, 嶋村 弘史, 田中 昌代. 品川区地域連携問い合わせ簡素化プロトコールの策定および導入による効果. 第 34 回日本医療薬学会年会, 2024 年 11 月 (千葉)

7. 稲田洋子 (ポスター), 福永晃子, 船津明子, 山中亜由美, 深井萌佳, 松下知司, 内倉健, 嶋村弘史, 小林真一, 三邊武彦. 治験薬の欠品を契機とした在庫管理の取り組み~IWRS を利用し、CRA と搬入日を調整しても治験薬の欠品は発生する~. 第 24 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議 2024 in Sapporo, 2025 年 9 月 (北海道)

8. 宇賀神 和久 (口頭発表), 詫間 隆博, 温 麟太郎, 鈴木 絢子, 吉川 雅之, 前田 真之, 石野 敬子, 時松 一成. 血液採取量の評価に基づいた AS チームによる血液培養提出適正化の推進. 第 71 回日本化学療法学会東日本支部総会
第 73 回日本感染症学会東日本地方会学術集会 合同学会, 2024 年 10 月 (東京)

9. 柏渕弓佳(ポスター), 杉沢諭, 森田くる美, 内藤結花, 井上裕美子, 平出美紀, 森中遥香, 尾頭希代子, 大江克憲, 和田紀子, 嶋村弘史, 田中克巳. 婦人科手術患者における術後疼痛、および悪心・嘔吐出現に関連する因子の解析. 第 34 回日本医療薬学会年会, 2024 年 11 月 (千葉)

10. 大津 真依, 稲垣 貴士, 木村 祐子, 本田 麻里, 詫間 章俊, 縄田 修一 (ポスター). 維持透析下における多発性腎嚢胞感染患者に対してリネゾリドを提案し奏功した症例. 日本病院薬剤師会 関東ブロック 第 54 回学術大会, 2024 年 8 月 (埼玉)

11. 小倉 七海, 稲垣 貴士, 木村 祐子, 高田 昂輔, 本田 麻里, 市倉 大輔, 縄田 修一 (ポスター). UGT1A1*28 ホモ接合体下行結腸癌患者に対する FOLFIRI+RAM 療法の投与量を検討した一例. 日本病院薬剤師会 関東ブロック 第 54 回学術大会, 2024 年 8 月 (埼玉)

12. 岩倉 春姫, 稲垣 貴士, 木村 祐子, 本田 麻里, 市倉 大輔, 縄田 修一 (ポスター). 多発性骨髄腫に合併した高度腎機能障害患者の 2 型糖尿病治療薬選択に関与した症例. 日本病院薬剤師会 関東ブロック 第 54 回学術大会, 2024 年 8 月 (埼玉)

13. 檜村 彩英子, 里 美貴, 稲垣 貴士, 金正興, 眞鍋 亮, 楠本 壮二郎, 堀池 篤, 角田 卓也, 向後 麻里. 多発性骨髄腫に合併した高度腎機能障害患者の 2 型糖尿病治療薬選択に関与した症例. 第 62 回癌治療学会学術集会, 2024 年 10 月 (福岡)

14. 小野航太郎, 木村祐子, 稲垣貴士, 徳永愛美, 市倉大輔, 縄田修一. がん患者を対象にした薬剤師外来の実施およびトレーシングレポート活用の有用性. 第 14 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2025, 2025 年 3 月 (横浜)

15. 丸山 祐樹 (口頭発表), 倉増 敦朗, 佐々木 彩, 細沼 雅弘, 船山 英治,

田島 康平, 磯部 順哉, 鶴井 敏光, 豊田 仁志, 甘利 泰伸, 志田 みどり, 馬場 勇太, 平澤 優弥, 石黒 智之, 下川 雅弘, 有泉 裕嗣, 堀池 篤, 木内 祐二, 角田 卓也, 吉村 清. H1 受容体拮抗薬は免疫チェックポイント阻害薬の抗腫瘍効果を増強する. 第 28 回日本がん免疫学会総会・第 37 回日本バイオセラピー学会学術集会総会合同大会, 2024 年 7 月 (東京)

16. 豊田 仁志 (口頭発表), 倉増 敦朗, 細沼 雅弘, 磯部 順哉, 田島 康平, 船山 英治, 志田 みどり, 鶴井 敏光, 甘利 泰伸, 丸山 祐樹, 佐々木 彩, 三邊 武彦, 工藤 理史, 辻 まゆみ, 木内 祐二, 角田 卓也, 吉村 清. 膵がんにおける可溶性 MICB の産生制御は NKG2D 低発現 T 細胞の活性化を促進する. 第 28 回日本がん免疫学会総会・第 37 回日本バイオセラピー学会学術集会総会合同大会, 2024 年 7 月 (東京)

17. 平澤 優弥 (口頭発表), 磯部 順哉, 細沼 雅弘, 志田 みどり, 村 英美子, 鈴木 梨沙子, 鶴井 敏光, 入口 菜々, 石黒 智之, 大熊 遼太郎, 下川 雅弘, 有泉 裕嗣, 久保田 祐太郎, 堀池 篤, 馬場 勇太, 倉増 敦朗, 和田 聡, 小林 真一, 角田 卓也, 吉村 清. 加齢に伴う腸内細菌叢の変化と免疫チェックポイント阻害薬の有効性への影響. 第 28 回日本がん免疫学会総会・第 37 回日本バイオセラピー学会学術集会総会合同大会, 2024 年 7 月 (東京)

18. 船山 英治 (口頭発表), 細沼 雅弘, 倉増 敦朗, 磯部 順哉, 馬場 勇太, 田島 康平, 豊田 仁志, 鶴井 敏光, 甘利 泰伸, 丸山 祐樹, 佐々木 彩, 平澤 優弥, 有泉 裕嗣, 堀池 篤, 木内 祐二, 角田 卓也, 吉村 清. 経口抗菌薬及びプロバイオティクス投与による腸内細菌叢の変動と ICI 抗腫瘍効果への影響. 第 28 回日本がん免疫学会総会・第 37 回日本バイオセラピー学会学術集会総会合同大会, 2024 年 7 月 (東京)

19. 鶴井 敏光 (口頭発表), 細沼 雅弘, 佐々木 彩, 丸山 祐樹, 甘利 泰伸, 船山 英治, 田島 康平, 豊田 仁志, 磯部 順哉, 馬場 勇太, 志田 みどり, 堀池 篤, 和田 聡, 倉増 敦朗, 木内 祐二, 角田 卓也, 吉村 清. ペムブロリズマブ結合 T 細胞集団に着目した免疫チェックポイント阻害薬に対する新規バイオマーカーの開発. 第 28 回日本がん免疫学会総会・第 37 回日本バイオセラピー学会学術集会総会合同大会, 2024 年 7 月 (東京)

20. 細沼 雅弘 (口頭発表), 村山 正和, 船山 英治, 磯部 順哉, 馬場 勇太, 田島 康平, 豊田 仁志, 鶴井 敏光, 佐々木 彩, 丸山 祐樹, 磯部 晃, 木内 祐二, 和田 聡, 倉増 敦朗, 角田 卓也, 吉村 清. 難消化性タンパク由来の腸内細菌代謝産物による M1 マクロファージ誘導を介した抗腫瘍免疫増強の試み. 第 28 回日本がん免疫学会総会・第 37 回日本バイオセラピー学会学術集会総会合同大会, 2024 年 7 月 (東京)

21. 吉村 清 (口頭発表), 磯部 順哉, 細沼 雅弘, 鶴井 敏光, 平澤 優弥, 馬場 勇太, 田島 康平, 船山 英治, 豊田 仁志, 甘利 泰伸, 丸山 祐樹, 佐々木 彩, 志田 みどり, 有泉 裕嗣, 下川 雅弘, 久保田 祐太郎, 堀池 篤, 和田 聡, 倉増 敦朗, 角田 卓也. がん免疫療法における基礎から臨床、臨床から基礎へ 腸内細菌修飾によるがん免疫療法の開発. 第 28 回日本がん免疫学会総会・第 37 回日本バイオセラピー学会学術集会総会合同大会, 2024 年 7 月 (東京)
22. 守屋賀奈絵 (ポスター), 久知良礼美, 小林麻美, 田川菜緒, 江島麗, 田中広紀, 柏原由佳, 嶋村弘史, 阿部祥英, 神谷太郎, 今井孝成, 百賢二. 未就学児に処方された抗菌薬の自宅残薬と再使用に関する保護者への全国調査. 第 34 回日本医療薬学会年会, 2024 年 11 月 (千葉)
23. 星茜 (ポスター), 二村哲未, 内倉健, 金正興, 杉山恵理花, 田島正教, 加藤容二郎, 吉武理, 百賢二. 腎移植患者を対象としたミコフェール酸の血中濃度測定値の測定機器間の差に関する評価 第 2 報. 第 34 回日本医療薬学会年会, 2024 年 11 月 (千葉)
24. 船越晴喜 (ポスター), 桐生嘉浩, 百賢二. 抗凝固薬単独療法を受けている低リスク心房細動患者における高強度治療への移行のリスク因子の同定, 2025 年 3 月 (福岡)
25. 金正興 (ポスター), 星茜, 島本一志, 竹中桃子, 島田翔太郎, 服部憲路, 嶋村弘史. 経口摂取不能な中枢神経原発リンパ腫に対して、チラブルチニブの簡易懸濁による経管投与に関わった症例. 第 14 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2025, 2025 年 3 月 (横浜)
26. 竹中桃子 (ポスター), 島本一志, 星茜, 嶋村弘史. メロペネムとバンコマイシンの再投与時に薬剤アレルギーを発症した一例. 第 14 回日本薬剤師レジデントフォーラム, 2025 年 3 月 (三重)
27. 佐々木隼 (ポスター), 宗友咲子, 青木悟, 森中遥香, 平出美紀, 玉造竜郎, 嶋村弘史. イオパミドールアレルギー歴のある患者に対する腹部ステントグラフト挿入術前の予防的ステロイド投与の最適化. 第 14 回日本薬剤師レジデントフォーラム, 2025 年 3 月 (三重)
28. 鈴木康介 (ポスター), 渡邊亜矢子, 桐生嘉浩, 井上永介, 百賢二. がん患者における胃酸分泌抑制薬投与開始後の急性腎障害に関する自己対照ケースシ

リーズ研究. 日本臨床腫瘍薬学会 学術大会 2025, 2025 年 3 月(横浜)

29. 唐沢浩二, 若林仁美, 岡本まとか, 田中克巳, 千葉正博 (口頭発表). とろみ調整剤とワルファリンの医薬品-食品相互作用の検討. 日本薬学会第 145 回年会, 2025 年 3 月(福岡)

30. 上野 慎一郎 (ポスター), 杉山 恵理花, 田島 正教, 磯崎 健男, 吉川 雅之, 佐藤 均. 自己免疫疾患患者におけるグルココルチコイド療法による高血糖に対する糖尿病治療薬の処方調査. 日本薬学会第 145 回年会, 2025 年 3 月(福岡)

31. 坂間 利奈 (ポスター), 永尾 美智瑠, 田島 正教, 吉川 雅之, 佐藤 均, 杉山 恵理花. 新規プレガバリン経皮吸収製剤の開発と皮膚透過性の検討. 日本薬学会第 145 回年会, 2025 年 3 月 (福岡)

32. 中嶋宏太, 百 賢二(ポスター). 喘息-慢性閉塞性肺疾患オーバーラップ患者において $\beta 2$ 刺激薬による重篤な振戦を生じた一例. 日本薬学会第 145 回年会, 2025 年 3 月(福岡)

33. 高久智妃 (ポスター) 、岡田貴裕, 金正興, 嶋村弘史. 食道がんに対するフルオロウラシル/シスプラチン療法による胸痛症状をきたした一例. 第 14 回日本薬剤師レジデントフォーラム, 2025 年 3 月(三重)

34. 岡田貴裕(口頭), 須永登美子, 縄田修一, 磯 良崇, 江波戸美緒, 土至田勉, 鈴木洋, 向後麻里. 悪性腫瘍合併静脈血栓塞栓症患者におけるがん種および経口抗凝固薬の特徴と転帰の検討.

6.その他 (セミナー、講演会での発表) 院内

1. 嶋村弘史(セミナー). 当院におけるポリファーマシー対策と地域連携. 世田谷区薬剤師会保険薬局部会 4 月度 (第 186 回) リモート勉強会. 2024 年 4 月(Web)

2. 鶴井敏光(講演会), 細沼雅弘, 佐々木彩, 丸山祐樹, 甘利泰伸, 船山英治, 田島康平, 豊田仁志, 磯部順哉, 磯部晃, 山崎喜貴, 馬場勇太, 志田みどり, 宇高結子, 村英美子, 鈴木梨沙子, 入口菜々, 石黒智之, 平澤優弥, 大熊遼太郎, 下川雅弘, 有泉裕嗣, 堀池篤, 和田聡, 倉増敦朗, 角田卓也, 吉村清, 木内祐二. 第 399 回昭和大学学士会例会. 2024 年 5 月(昭和大学)

3. 星 茜 (講演会). 昭和大学病院における外来化学療法と薬剤師の役割. 大鵬

薬品工業株式会社 社内研修会. 2024 年 7 月 (Web 開催)

4. 嶋村弘史(セミナー). 当院における睡眠薬適正使用の取り組み～フォーミュラリ策定とポリファーマシー対策～. 睡眠薬適正使用 Web セミナー. 2024 年 9 月 (Web)

5. 嶋村弘史(セミナー). 当院における薬薬連携～プロトコールおよびトレーニングレポート～. 品川区薬剤師会学術勉強会. 2024 年 11 月 (Web)

6. 嶋村弘史(セミナー). 昭和大学における睡眠薬フォーミュラリ策定について. Healthcare Quality Seminar in 旗の台. 2024 年 11 月 (Web)

7. 嶋村弘史(セミナー). 問い合わせ簡素化プロトコール. 蒲田薬剤師会学術 Web 研修会. 2024 年 12 月 (Web)

7.受賞 (学会、論文)

1. 青木 (宗友) 咲子 : 日本薬学会第 144 年会 学生優秀発表賞 (ポスター発表の部) (2024 年 4 月)

2. 磯部 順哉 : 令和 6 年度上條優秀論文賞 (2024 年 6 月)

3. 岡田貴裕, 第 89 回日本循環器学会学術集会 コメディカル賞審査講演会【看護・薬剤・リハ部門】奨励賞 (2025 年 3 月)